

令和7年度 成人保健専門委員会 会議要旨

開催日時	令和 7 年 9 月 12 日（金） 19 時 30 分～20 時 45 分		
開催場所	国分保健センター 1 階検診室		
出席委員	加倉委員、上園委員、林委員、藤田委員、山崎委員、野間口委員、吉永委員、原田委員		
事務局	【健康増進課】 鮫島課長、赤水主幹兼健康づくり推進グループ長、坂口主幹兼保健予防グループ長、西主査、徳重主査、窪田主事、酒井主事補 【すこやか保健センター】 上小園所長、大田主幹兼地域保健第 1 グループ長、小島サブリーダー、溝口主査		
公開・一部非公開又は非公開の別	公開	傍聴人数	0 人
議事 （１）健康きりしま 21（第 4 次）計画 第 4 章について 分野別の具体的な取組【成人保健に関する分野】 （２）その他			
協議結果等の概要 委：委員 事：事務局 （１）健康きりしま 21（第 4 次）第 4 章 成人保健の分野について ⇒ 事務局が資料に沿って説明。委員からの質問、意見は以下のとおり。 【健康運動サロンについて】 委： 運動体操サロンが、市の全域に広がっており、各地区で 2 週間に 1 回教室をしているとの説明があったが、参加者数が年々増えている要因を教えてください。 事： 今年度は国分・隼人会場を 2 会場に分けて、国分隼人 4 か所、支所 5 か所と計 9 会場に増やして実施をしているので、去年よりも増えていくと思われる。前期と後期に分かれて実施しているが、前期から参加された方は、継続して後期も参加される方が多く、とても好評を得ている。その一方で、1 年間継続して参加される方が多くなっている関係で、新規対象者の入れる枠が少なくなっているのが課題である。 委： 運動体操サロンに栄養士や歯科衛生士はどのように関わっているのか知りたい。 事： サロンの中で講話を設けている。 委： 歯科衛生士として運動体操サロンに従事した際に、健康運動普及推進員として近所の友人が従事していた。身近な人が元気に活動する姿を見て、健康運動普及推進員を増やしていくといいと思った。 【CKD・糖尿病重症化予防について】 委： 資料 14 ページの図 10 の新規人工透析者の推移で、前年度の 36.8 から令和 6 年度が 18.9 となり目標を達成されたということだが、この数字に関して、取組の効果、手応えなどあれば教えていただきたい。			

事： 令和6年度の数値は非常に嬉しいところではあるが、変動が年度によってあるということも考えられる。私達のCKDの取組になると、国保の特定健診を受診した方が対象になる。図10の新規人工透析者は、全ての医療保険者の霧島市の人工透析になるため、私達の取組が必ずしも直結しているかというのは断言できないところで、私達はもちろん予防に取り組んでいるが、やはり医療機関の先生方との連携や、CKD予防ネットワークが機能している部分が少なからずあるのではないかと感じているところである。

令和5年度の結果が非常に悪かったため、令和7年度はCKD予防ネットワークの推進を図れるように、ほぼすべてのCKD予防ネットワーク登録医の医療機関に、CKD予防の対象者や書類について説明をさせていただいた。

委： CKD予防ネットワークで腎臓専門としてよく紹介を受けるが、ここ1、2年ぐらいは紹介が増えたような気がする。患者の中には既に腎機能低下で来られる方も多くいる。新規人工透析の原疾患で原因不明が多いが、既に腎不全の状態になると、推測できる場合や病歴を疑って受診している人はその診断をつけられるが、本人が病歴を覚えていない場合は診断がつかず不明か推測でつけるという現状になっている。

腎不全の患者の指導については、治療を続けてもらうことと、将来に悲観的になっている人も多いため、できるだけ腎臓を長持ちさせて寿命の間は持たせましょうというような指導をすると、前向きに取り組んでももらう方も多い。

受診しなくなった人が突然受診して、非常に悪くなっている状況もある。その場合に高血圧なども一緒に悪くなったりしているので、腎臓病だけではなく、高血圧などの放置がないようにしてもらうのも、腎臓病や透析患者を将来的に減らすことに繋がると思う。

令和6年度の新規透析者は減っているため、その後も減少していくあるいは維持することを願っているため、CKD予防ネットワーク継続していければと思う。

委： 新規人工透析者が令和2年から令和4年で減って、令和5年に増えているが、コロナ禍が関係しているか教えてほしい。

委： 可能性はあると思うが、病院受診をしなかったのかどうか、受診せずに悪くなってしまった人が多かったのか、はっきりした原因は分からないと思う。

委： 高齢者のフレイル予防というところは、多職種で関わることが多いが、若い人達、特に高校生や中学生も、食事のことを聞く機会がないというのもあるので、ポピュレーションアプローチのような何かのイベントの時に栄養士が関わって、地域住民に食事の必要性の話ができる機会ができればいいと思っている。これから先、腎不全の方が多くなるのではないかと懸念もあるので、霧島市でどのように取り組んでいくかを考えながら私達も取り組めたらいいと思う。

【健康きりしま21の目標値について】

委： 「かかりつけ医・歯科医・薬局をもつ市民の割合」という目標値があるが、かかりつけ薬局の割合は低くなっている。専門医ごとに受診すると、1か所の薬局でというのは難しいためである。かかりつけという一元化でなくても、専門の病院に行った時の薬局は決めておくという数値の比較でもいいと思っている。

また、お薬手帳を見ることによって、全ての薬の中身が分かるので、どれだけお薬手帳を持って来られたかという評価の方が、かかりつけ薬局に対しての意味があると感じた。

【健（検）診について】

委： 健（検）診の受診率向上のために、市民にどのように案内していけばいいのかを時間をかけて協議の方をしていかれたらと思う。

委： 特定健診受診率を増やすために脱漏の集団健診を1日増やすとのことだが、何%ぐらい上がると思うか。

事： 何%という計算はできていないが、受診者数でいくと、開始年度の令和4年度108人だったところが、令和5年度が329人、令和6年度が374人となっている。霧島市国保では集団健診の日数を増やす以外に、対象者の方のこれまでの受診歴や年代、性別等をAIで解析して、受診意欲に繋がるような、働きかけるような受診勧奨の通知を実施期間の途中で出している。この取組を去年度始めて今年度も引き続き行うので、2年実施してみてその傾向が見えるのではないかと考えている。

【出前講座について】

委： 出前講座で高血圧や糖尿病のことについてもっと広めていただきたい。

（2）その他について
特になし

会議資料

【配付資料】

○令和7年度成人保健専門委員会資料